

運搬用車両を整備 ～南幌めぐみ学園～



社会福祉法人南幌苑 障がい者支援施設南幌めぐみ学園（栗林和史総合施設長）に、公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団の平成25事業年度施設整備等助成金交付を受けて運搬用車両が整備されました。白のボディに公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団のマークの入った車両は、附属品などを含め総額3,050,000円、中央競馬馬主社会福祉財団助成金1,250,500円。日常利用者の行っている作業の製品搬送や各イベントなどにも活躍が期待されます。



南幌かるた躍進！ ～子どもかるた大会～

北海道独自の文化である百人一首「下の句かるた」。1月18日に「南空知子ども会親睦かるた大会」が美唄市で開催され、小学生チームが3位の成績を収めました。2月1日には「全道子どもかるた大会空知予選」が芦別市で開催され、中学生チームが3位となり、8年ぶりに全道大会の出場権を獲得しました。2月23日に定山渓で開催された全道大会では1・2回戦を勝ち抜き、見事ベスト8に進出しました。全道の大舞台を経験した選手たちの今後の活躍が期待されます。



小学生チーム 中林 文、石川 綾乃（6年） 石川 千夏、堀 幸翔（4年） 鈴木 彩花（3年）
中学生チーム 若杉 るな、久保 夢希菜（3年） 大塚 明花梨（2年） 若杉 健、阿部 屈紗（1年）

南幌小学校に雪山がつくられました ～南幌町建設業協会～

南幌町建設業協会（峰尾義明会長）のご厚意により、南幌小学校のグラウンドに児童の冬の遊び場として、雪山をつくっていただきました。雪山が完成し、山のない南幌町でも子どもたちが身近にスキーやそり遊びを楽しむことができるようになりました。



平成26年2月2日(日)

各クラスで熱戦が繰り広げられました ～全町ミニバレーボール大会～

第32回全町ミニバレーボール大会が15行政区、223名の参加のもとスポーツセンターで開催されました。競技は壮年16チーム、熟年11チームに分かれて行われ、選手の家族のほか地元行政区からの熱い声援を受け、各クラスで熱戦が繰り広げられました。各行政区から幅広い層の参加があり、ミニバレーボールを通じて地域間の交流を深めた一日でした。



【壮年の部】

優勝：15区チーム
準優勝：北町Aチーム
第3位：緑町チーム・稲穂チーム



【熟年の部】

優勝：東町チーム
準優勝：西町チーム
第3位：稲穂Aチーム・稲穂Bチーム



汗びっしょりになりながら除雪ボランティア ～南幌中学校～

南幌中学校の生徒80名と教員8名が、柳陽団地の高齢者用住宅4棟20戸の除雪ボランティアを行いました。各戸とも周囲の雪は2メートル以上になり、住宅内の採光を妨げていました。生徒は氷点下を下回る寒さのなかでしたが、汗びっしょりになりながら、約2時間掛けて雪を取り除きました。生徒は「皆さんにありがとうと言ってもらい、うれしかった」「皆さんの笑顔のためにできてよかった」と話していました。



平成26年2月8日(土)

冬のなんぼろを満喫しました！ ～ジッピー・ウィンターフェスティバル2014～

「ジッピー・ウィンターフェスティバル2014」がビューローとスポーツセンター特設会場で開催されました。大人気のくまモンが来町できず残念でしたが、特設すべり台やキャベッチくんとくまモンの雪像に、子どもたちは大喜びで何度も滑って楽しんでいました。また、スノーモービルの試乗体験や雪合戦の観戦、豚汁やココア、お汁粉などが無料で振る舞われました。

夕方には少年団の子どもたちがアイスク্যান্ডルの点灯を行い、その後ビューロー内でもちつきも行われ、元気な子どもたちの姿が見られました。



平成26年2月9日(日)